

LHA-1394V V01B

*PCI BUS IEEE1394 INTERFACE BOARD*

# IEEE1394インターフェイスボード ユーザーズマニュアル

LHA-1394V

**Logitec**

# 目次

取扱い上のご注意 .....	1
ロジックソフトウェア使用権許諾契約書 .....	2
付属品の確認 .....	4
ごあいさつ .....	5
ご注意 .....	5
<b>第1章 製品のご紹介 .....</b>	<b>6</b>
1.1 製品の特徴 .....	6
1.2 各部の名称 .....	8
<b>第2章 接続とインストール .....</b>	<b>9</b>
2.1 接続の手順 .....	9
2.2 ドライバのインストール (Windows Me の場合).....	12
2.3 ドライバのインストール (Windows 98 SE の場合).....	14
2.4 接続/インストール結果の確認 .....	17
<b>第3章 ストレージ機器を接続する場合 .....</b>	<b>20</b>
3.1 接続の手順 .....	20
3.2 接続後の作業 .....	23
3.3 機器を取り外す場合 .....	24
<b>第4章 AV機器を接続する場合 .....</b>	<b>25</b>
4.1 キャプチャソフトウェアのインストール .....	26
4.2 接続の手順 .....	26
4.3 接続結果の確認 .....	29
4.4 機器を取り外す場合 .....	32
<b>第5章 補足事項 .....</b>	<b>33</b>
5.1 トラブルシューティング .....	33
5.2 IEEE1394 機器の増設について .....	37
<b>ハードウェア仕様 .....</b>	<b>39</b>

# 取扱い上のご注意

## 警告

接続時は、電源コードを抜いてください。  
本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。また、IEEE1394機器を接続するときも、同様にすべての機器の電源をOFFにしてください。



## 注意

ケガなどに注意してください。  
本製品の裏側などに不注意に触れると、ケガをすることがありますので注意してください。



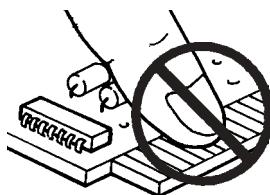
ケガに注意

静電気対策をしてください。  
本製品には、静電気に弱い部品があります。接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分に触れて、体内の静電気を放電してから作業を行なってください。また、本製品の不要な部分にはなるべく触れないでください。



静電気対策

金メッキ部分には触れないでください。  
本製品の金メッキ部分はパソコン本体と直接接続されます。接触不良を防止するため、直接手で触れないでください。



## 付属品の確認

IEEE1394 インターフェイスボード .....	1 枚
Low Profile PCI 用取付金具 .....	1 枚
ユーティリティソフトウェア	
「LogitechWare」CD-ROM.....	1 枚
IEEE1394 インターフェイスボード・ユーザーズマニュアル ..	本書
保証書 / ユーザー登録カード .....	1 枚

上記は本製品単体販売の場合の付属品です。他のハードウェア / ソフトウェアとのバンドル製品の場合は、補足説明票などをご参照ください。

\* MS®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。  
FireWireは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。i.LINKはソニー株式会社の商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

# ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

## ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

# 第 1 章

# 製品のご紹介

## 1 . 1 製品の特徴

---

本製品はPCIバス対応のIEEE1394インターフェースボードです。

### 本製品の特徴

IEEE1394 は最大データ転送速度 400Mbps（理論値）を誇るインターフェースです。プラグ&プレイ、ホットプラグをサポートし、ツリー型の柔軟な接続を可能にします。IEEE1394 インターフェースを搭載した機器であれば、面倒な設定を行うことなく手軽にパソコンと接続を行うことができます。

IEEE1394はHDユニットやMOユニットのようなストレージ機器だけではなく、デジタルビデオカメラなどのAV機器でもサポートされていますので、デジタルビデオのキャプチャなどにも最適です。(デジタルビデオのキャプチャにはキャプチャ・ソフトウェアが必要です。)

本製品は外部用 IEEE1394 コネクタ（6ピン）× 3、内部用 IEEE1394 コネクタ（6ピン）× 1 を標準装備しています。これらのコネクタを同時に 3 ポートまで使用することができます。

本製品の IEEE1394 コネクタは IEEE1394 機器への電源供給（バスパワー）をサポートしています。(供給可能な電力の量については、巻末の「ハードウェア仕様」をご参照ください。)



### ご注意

---

本製品はスリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードには対応していません。本製品を使用する場合はパソコン本体の省電力機能を使わない設定にしてください。設定方法は第 5 章の「5 . 1 トラブルシューティング」をご参照ください。また、システムの終了オプションで表示される「スタンバイ」や、パソコン本体のサスペンドスイッチは使用しないでください。

---



## 参考

---

IEEE1394 はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

---

## 対応パソコンについて

本製品は以下のパソコン本体に接続して使用することができます。すべて PCI バスの拡張スロット (Rev. 2.1 以降 ; Low Profile PCI も可) を搭載し、IEEE1394 ポートを持たない機種に限定されます。

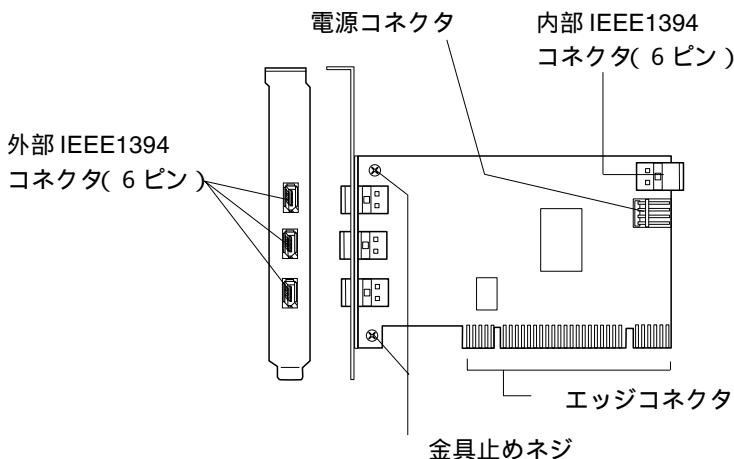
各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

## 対応 OS について

本製品は以下の OS で使用することができます。すべて日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社
Windows XP Home Edition/Professional
Windows Me
Windows 98 Second Edition
Windows 2000 Professional

## 1.2 各部の名称



### 外部 IEEE1394 コネクタ (6ピン × 3)

外付け IEEE1394 機器を接続します。(バスパワー対応)

### 内部 IEEE1394 コネクタ (6ピン × 1)

内蔵 IEEE1394 機器を接続します。(バスパワー対応)

### 電源コネクタ

バスパワー駆動の IEEE 1394 機器を 2 台以上使用する場合は、この部分にフロッピーディスクドライブ用の電源ケーブル(パソコン内部で余っているもの)を接続してご使用ください。もし、パソコン本体にフロッピーディスクドライブ用の電源ケーブルがない場合は、別売りの二股電源ケーブルをご使用ください。二股電源ケーブルは以下の型番で弊社より発売されています。

型番：CB-DC2-003

### エッジコネクタ

PCIバスの拡張スロットに接続する部分です。この部分には直接手を触れないでください。

### 金具止めネジ

取付金具を固定しているネジです。Low Profile PCI 用の取付金具と交換する場合は、このネジを外して、取付金具を取り外してください。



# 第2章 接続とインストール

## 2.1 接続の手順

本製品はPCIバス（Rev2.1以降）に準拠した拡張スロットに接続します。接続は以下の手順で行ないます。

### Point

#### ポイント

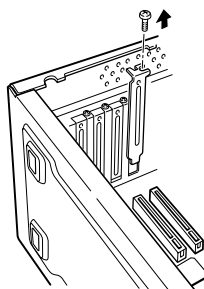
Low Profile PCI対応の拡張スロットに接続する場合は、あらかじめ本製品の取付金具をLow Profile PCI用のものと交換してください。



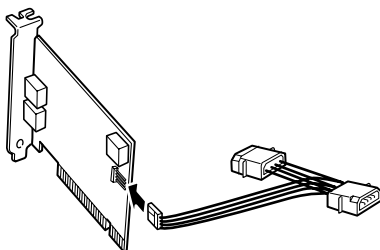
必ずパソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。

パソコン本体の取扱説明書などを参照して、パソコン本体の上部カバーを取り外します。

IEEE1394 インターフェースボードを接続するPCIバスの拡張スロットを選択し、スロットカバーを取り外します。

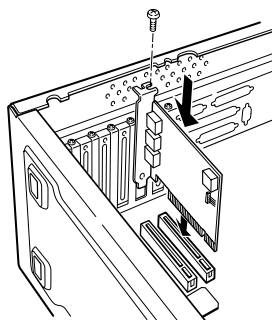


別売りの二股電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続する場合は右の図を参考に接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。

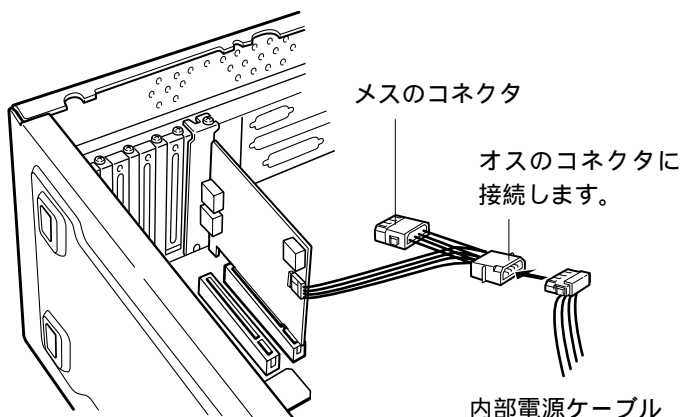


## 2.1 接続の手順

IEEE1394 インターフェイスボードを PCI バスの拡張スロットに挿入します。なるべく垂直に挿入して、完全にセットされたことを確認したら、ネジで固定してください。(フロッピーディスクドライブ用の電源ケーブルを接続する場合は、ここで本製品の電源コネクタと接続します。)

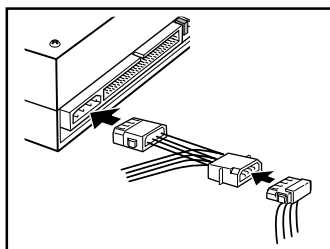


別売りの二股電源ケーブルを本製品に接続した場合はパソコン本体の内部電源ケーブル(余っているもの)と接続します。



### ご注意

もし、内部電源ケーブルに余っているものがない場合は、CD-ROM ドライブなどから内部電源ケーブルを外し、中間に別売りの二股電源ケーブルを接続してください。



ここで、内蔵 IEEE1394 機器を使用する場合は、機器に付属のケーブルで本製品の内部IEEE1394 コネクタ(6ピン)と、内蔵 IEEE1394 機器を接続してください。

すべての接続が終了したら、パソコン本体の上部カバーを元に戻します。このとき、ケーブルなどを挟み込まないようにご注意ください。

以上で本製品の接続は終了です。接続後の作業は以下のように使用する OS によって異なります。

#### Windows Me の場合

本製品のドライバは OS に添付されていますが、インストール作業が必要ですので、2.2 節に進んでください。

#### Windows 98 Second Edition の場合

本製品のドライバは OS に添付されていますが、インストール作業が必要ですので、2.3 節に進んでください。

#### Windows XP, 2000 の場合

本製品のドライバは OS に添付され、自動的にインストールされますので、2.4 節に進んでください。



#### ご注意

---

この段階では、まだ外部 IEEE1394 機器（特に AV 機器）は接続しないでください。

---

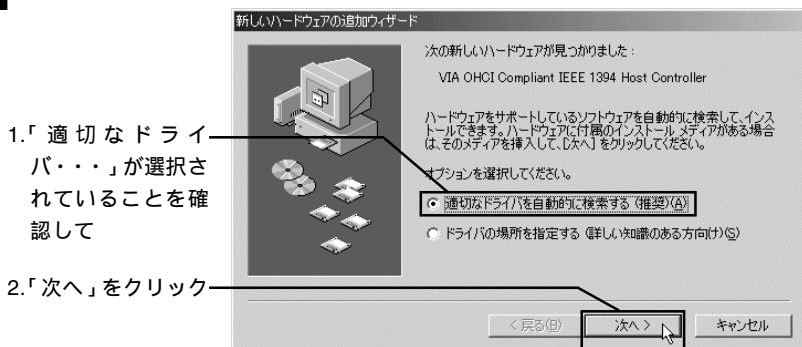
## 2.2 ドライバのインストール

(Windows Me の場合)

本製品の接続が終了したら、パソコン本体の電源を ON にして Windows Me のシステムを起動してください。システムの起動中に本製品がプラグ & プレイで認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。ここから、以下の手順で IEEE1394 ドライバ (OS 標準添付のもの) をインストールしてください。

1

「新しいハードウェアの追加ウィザード」のウィンドウが表示されます。



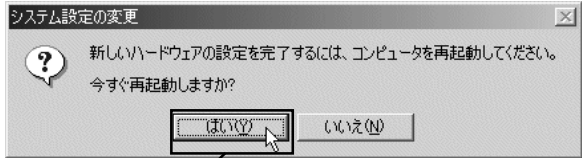
2

IEEE1394 ドライバがシステム内部で検索され、自動的にインストールされます。終了すると以下のウィンドウが表示されます。



3

システムを再起動するウィンドウが表示されます。



「はい」をクリック

4

システムが再起動されます。再起動が完了したら、作業は終了です。インストール結果を確認しますので、2.4節に進んでください。

## 2.3 ドライバのインストール

(Windows 98 Second Edition の場合)

本製品の接続が終了したら、パソコン本体の電源を ON にして Windows 98 Second Edition のシステムを起動してください。システムの起動中に本製品がプラグ & プレイで認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。ここから、以下の手順で IEEE1394 ドライバ (OS 標準添付のもの) をインストールしてください。

1

「新しいハードウェアの追加ウィザード」のウィンドウが表示されます。



2

1. 「使用中のデバイス・・・」が選択されている状態で

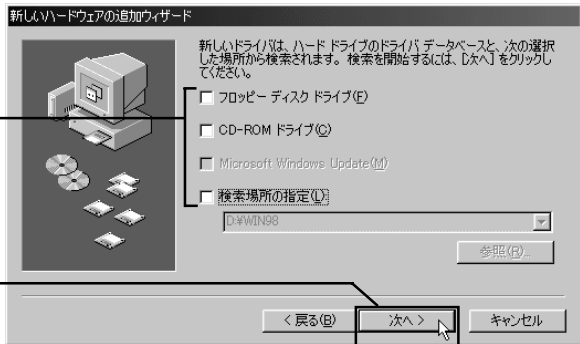
2. 「次へ」をクリック



3

1. すべてのチェックボックスからチェックを外して

2. 「次へ」をクリック



4

「次へ」をクリック



5

「ディスクの挿入」のウィンドウが表示される場合があります。(表示されない場合はステップ7へ。)

Windows 98 Second EditionのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、「OK」をクリック



## 2.3 ドライバのインストール

6

続いて「ファイルのコピー」のウィンドウが表示されたら、「ファイルのコピー元」のテキストボックスに「Q:¥win98」と入力します。



Point

ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

7

必要なファイルがシステムにインストールされます。インストールが終了すると、右下のウィンドウが表示されます。



以上でドライバのインストールは完了です。CD-ROMをドライブから取り出してください。この後、インストール結果を確認しますので2.4節に進んでください。



## 2.4 接続 / インストール結果の確認

ここでは、これまでの接続 / インストール作業が正常に行われているかどうかを確認します。

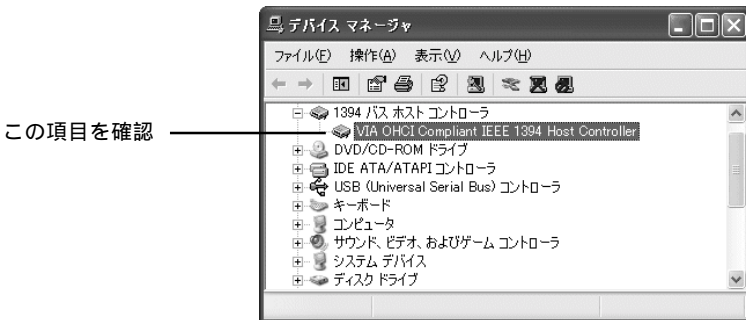
### Windows XP , 2000 の場合

Windows XP , 2000 を起動して、「コントロールパネル」 「システム」を起動してください。( Windows XPの場合、これはクラシック表示での起動方法です。)

「システムのプロパティ」のウィンドウが開いたら、「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

接続されている機器の一覧が表示されますので、「1394バスホストコントローラ」をダブルクリックして開いてください。

「1394バスホストコントローラ」が表示されない場合は、「第5章 トラブルシューティング」をご参照ください。



画面はWindows XP の物ですが表示される項目はWindows 2000 でもまったく同じです。

「1394バスホストコントローラ」を開いたときに、「VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」が表示され、「！」マークが付いていなければ、接続 / インストールは正常に行われています。右上のクローズボックス (×) をクリックして、「デバイスマネージャ」を閉じてください。

「！」マークが付いている場合は、「第5章 トラブルシューティング」をご参照ください。

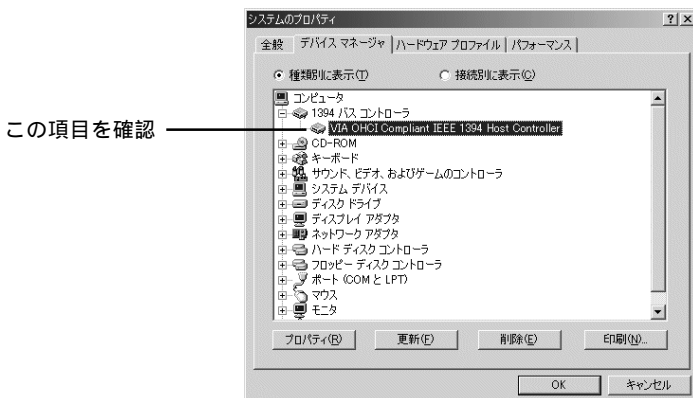
### Windows Me の場合

Windowsのシステムを起動して、「コントロールパネル」「システム」を起動してください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが開いたら、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

接続されている機器の一覧が表示されますので、「1394 バスコントローラ」をダブルクリックして開いてください。

「1394 バスコントローラ」が表示されない場合は、「第5章 トラブルシューティング」をご参照ください。



「1394 バスコントローラ」を開いたときに、「VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」が表示され、「！」マークが付いていなければ、接続/インストールは正常に行われています。OK ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」を閉じてください。

「！」マークが付いている場合は、「第5章 トラブルシューティング」をご参照ください。

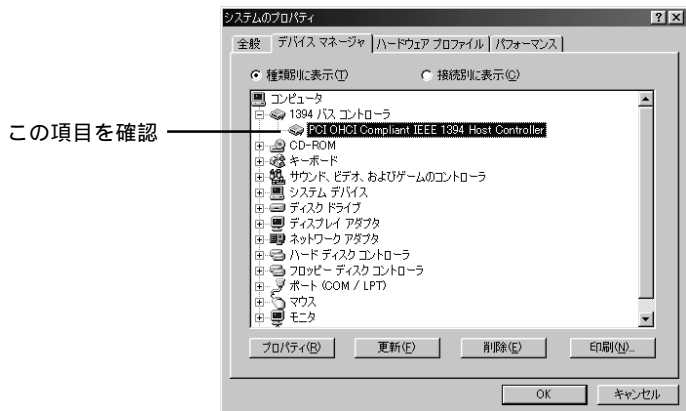
## Windows 98 Second Edition の場合

Windowsのシステムを起動して、「コントロールパネル」「システム」を起動してください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが開いたら、「デバイス マネージャ」タブをクリックしてください。

接続されている機器の一覧が表示されますので、「1394 バスコントローラ」をダブルクリックして開いてください。

「1394 バスコントローラ」が表示されない場合は、「第5章 トラブルシューティング」をご参照ください。



「1394 バスコントローラ」を開いたときに、「PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」が表示され、「！」マークが付いていなければ、接続/インストールは正常に行われています。OKボタンをクリックして、「システムのプロパティ」を閉じてください。

「！」マークが付いている場合は、「第5章 トラブルシューティング」をご参照ください。

## 第3章

# ストレージ機器を 接続する場合

本章ではHDユニットやCD-R/RWユニットのようなストレージ機器を本製品に接続する場合の手順を概略的に説明します。本章の内容は第2章までの作業がすべて完了して、本製品が正常に動作していることを前提としています。



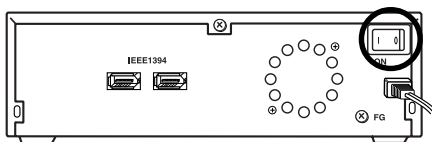
### ご注意

ここで説明する手順は概略的なものです。IEEE1394 機器にはそれぞれ特有の設定や注意事項などがありますので、詳細な手順についてはIEEE 1394 機器のマニュアルをご参照ください。

## 3.1 接続の手順

接続は以下の手順で行います。パソコン本体の電源が ON になっている状態で接続を行ってもかまいません。

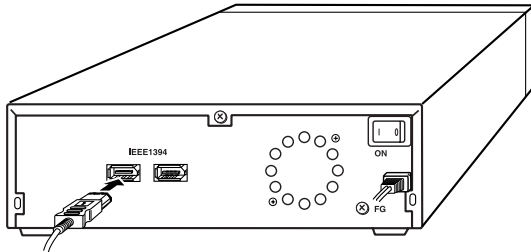
IEEE1394機器をセルフパワーで使用する場合は、IEEE 1394 機器の電源コードをコンセントに接続して、電源をONにします。



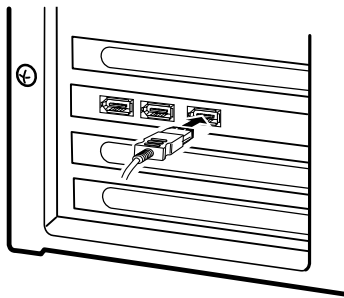
### ご注意

IEEE1394 機器をセルフパワーで使用する場合は、必ず最初に電源を ON にしてください。IEEE1394 機器に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

IEEE1394 機器に IEEE1394 ケーブルを接続します。機器に IEEE1394 コネクタが 2 個以上ある場合、原則的にどのコネクタを使用してもかまいません。ここで使用しないコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行うときに使用しますが、今は開いたままでかまいません。



IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタを本製品の外部 IEEE1394 コネクタに接続してください。

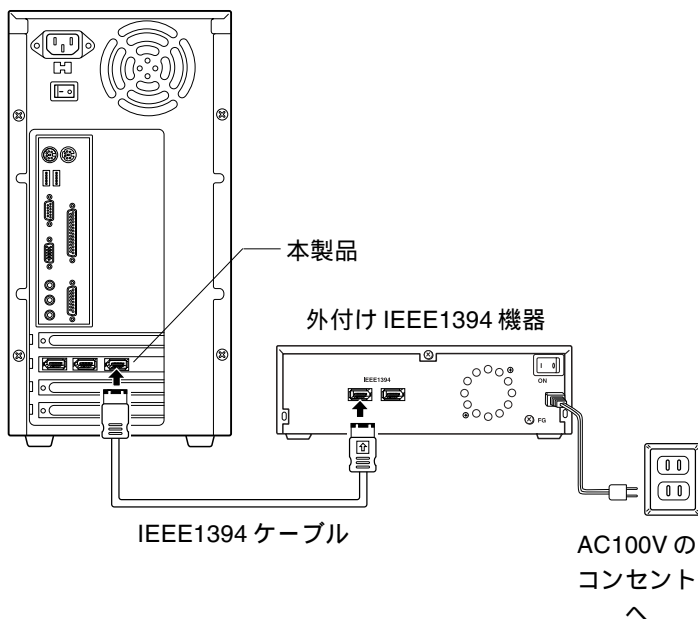


#### ご注意

複数の IEEE1394 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに IEEE1394 機器を接続するのは止めてください。トラブルの原因となります。

### 3.1 接続の手順

以上で接続は終了です。全体の接続図は以下のようになります。



#### Point

#### ポイント

- ・ IEEE1394機器には、SCSIのようなターミネータやIDナンバーはありません。
- ・ 複数のIEEE1394機器を接続したい場合は、第5章の「5.2 IEEE1394機器の増設について」をご参照ください。

## 3.2 接続後の作業

---

### HD ユニットの接続した場合

HD ユニットの接続した場合は、フォーマットを行わなければなりません。フォーマットが終了すると、「マイコンピュータ」にHDのアイコンが追加されます。初回接続時にフォーマットを行っておけば、次回からはHDユニットを接続しただけで使用可能な状態になります。

### MO ユニットの接続した場合

MOユニットは接続するだけで使用可能な状態になります。「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクのアイコンが追加されていることを確認してください。MOユニットにフォーマットされたメディアをセットして、このアイコンをダブルクリックすると、セットしたメディアにアクセスすることができます。

### CD-R/RW ユニットの接続した場合

CD-R/RWユニットは、通常、接続するだけでCD-ROM（リーダー）として認識されます。「マイコンピュータ」にCD-ROMのアイコンが追加されていることを確認してください。

CD-R/RWメディアの書きこみを行うには、ライティングソフトウェアをインストールしなければなりません。ライティングソフトウェアのマニュアルにしたがってインストール作業を行ってください。

**Point**

#### ポイント

---

いずれの場合も、ストレージ機器のマニュアルをよく読んでから作業を行ってください。

---

### 3.3 機器を取り外す場合

---

IEEE1394はホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)をサポートしています。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。以下のような点に注意し、IEEE1394 機器のマニュアルに記載された方法で取り外してください。

- ・IEEE1394 機器のアクセス中に取り外しを行ってはいけません。たとえ取り外す機器でなくても、併用しているIEEE1394 機器のアクセス中に機器の取り外しを行うと、トラブルの原因となる場合があります。
- ・ストレージ機器に保存されたファイルやアプリケーションを開いているときにストレージ機器を取り外してはいけません。
- ・ストレージ機器を取り外す場合は、「アンプラグ」と呼ばれる操作が必要です。詳細についてはストレージ機器のマニュアルをご参照ください。

例 : Windows 2000 でのアンプラグ操作

2. 取り外すドライブを選択します。



1. このアイコンをクリックして



## 第4章

# AV機器を接続する場合

本章ではデジタルビデオカメラのようなAV機器を本製品に接続する場合の手順を概略的に説明します。本章の内容は第2章までの作業がすべて完了して、本製品が正常に動作していることを前提としています。



### ご注意

---

- ・ここで説明する手順は概略的なものです。IEEE1394機器にはそれぞれ特有の設定や注意事項などがありますので、詳細な手順についてはIEEE 1394機器のマニュアルをご参照ください。
- ・単体販売のIEEE1394インターフェースボード「LHA-1394V」には、IEEE1394ケーブルが添付されていません。4ピンのIEEE1394コネクタを持つAV機器を接続する場合は、以下の型番で弊社から発売されているケーブルを別途ご用意ください

CB-I64-021S (IEEE1394ケーブル6ピン - 4ピン : 2.1m)

CB-I64-011S (IEEE1394ケーブル6ピン - 4ピン : 1.1m)

CB-I64-006S (IEEE1394ケーブル6ピン - 4ピン : 0.6m)

---

## 4 . 1 キャプチャソフトウェアのインストール

---

本製品に AV 機器を接続して、デジタルビデオのキャプチャを行う場合には、AV 機器を接続する前にキャプチャソフトウェアをインストールしなければなりません。

単体販売のIEEE1394インターフェースボード「LHA-1394V」には、キャプチャソフトウェアが添付されていませんので、AV 機器を接続する場合には、市販のデジタルビデオ・キャプチャソフトウェア（IEEE1394 対応のもの）を別途ご用意ください。

**Point**

ポイント

---

Windows XP の場合は、Windows XP 標準添付のソフトウェア「Windows ムービーメーカー」からデジタルビデオのキャプチャを行うことが可能です。

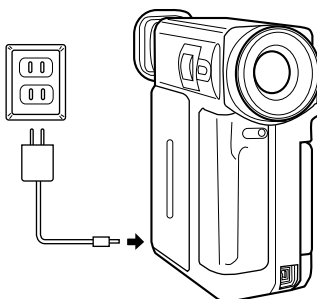
---

## 4 . 2 接続の手順

---

接続は以下の手順で行います。パソコン本体の電源が ON になっている状態で接続を行ってもかまいません。

AV 機器に AC アダプタなどを接続して、電源を ON にします。

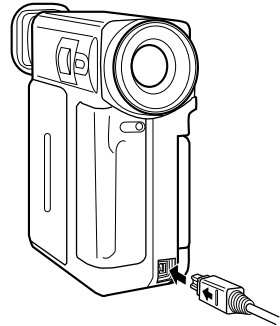




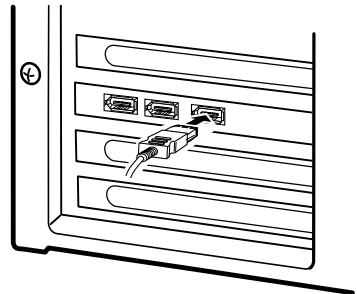
## ご注意

- ・バッテリー駆動でAV機器を使用すると、キャプチャの途中で停止してしまう危険性があります。必ずACアダプタ等を接続してください。(AV機器のIEEE1394コネクタは通常4ピンのため、バスパワーでの使用はできません。)
- ・AV機器は必ず接続の前に電源をONにしてください。AV機器に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

AV機器にIEEE1394ケーブル(6ピン - 4ピン)を接続します。



IEEE1394ケーブルのもう片方のコネクタを本製品の外部IEEE1394コネクタ(6ピン)に接続してください。

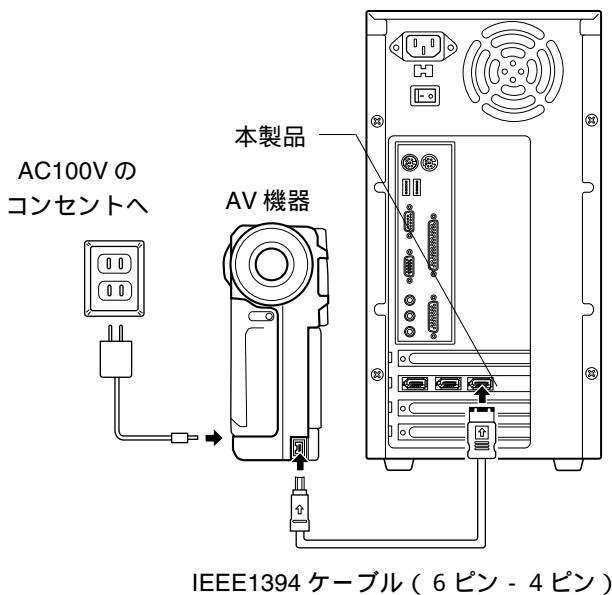


## ご注意

複数のIEEE1394機器を使用している場合、他の機器が動作しているときにAV機器を接続するのは止めてください。トラブルの原因となります。

## 4.2 接続の手順

以上で接続は終了です。全体の接続図は以下のようになります。



### Point

#### ポイント

- ・IEEE1394 機器には、SCSI のようなターミネータや ID ナンバーはありません。
- ・複数の IEEE1394 機器を接続したい場合は、第 5 章の「5.2 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

## 4.3 接続結果の確認

ここでは、接続が正常に行われているかどうかを確認します。確認はWindows 標準のシステムツール「デバイスマネージャ」で行いますが、デバイスマネージャを表示する手順がOSによって異なります。

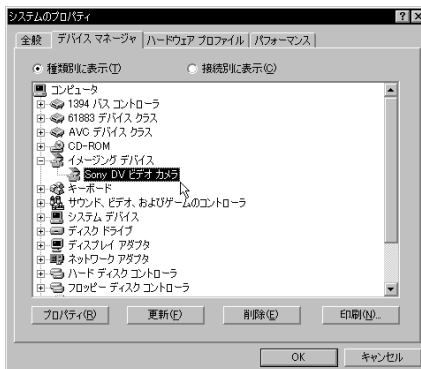
### Windows Me の場合

Windows Meを起動して、「コントロールパネル」「システム」を起動してください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが開いたら、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

接続されている機器の一覧が表示されますので、「イメージングデバイス」をダブルクリックしてください。

「イメージングデバイス」が表示されない場合は、「第5章 トラブルシューティング」をご参照ください。



「イメージングデバイス」を開いたときに、接続したAV機器に対応するデバイス(上の例では「Sony DV ビデオカメラ」)が表示されれば、接続は正しく行われています。OK ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」を閉じてください。

#### Point ポイント

Windows Me の場合、デバイスの名前は接続した AV 機器によって異なります。

確認が終了したら、AV 機器は使用可能な状態になっています。キャプチャソフトウェアからデジタルビデオのキャプチャなどを行ってください。

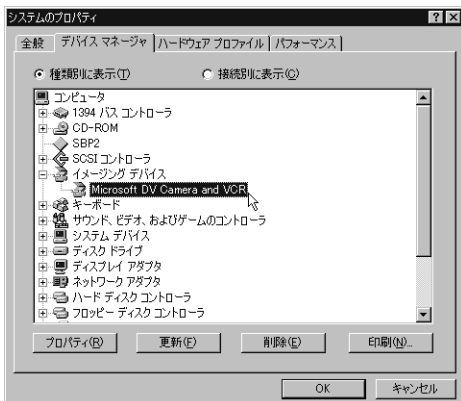
### Windows 98 Second Edition の場合

Windows 98 Second Edition を起動して、「コントロールパネル」「システム」を起動してください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが開いたら、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

接続されている機器の一覧が表示されますので、「イメージングデバイス」をダブルクリックして開いてください。

「イメージングデバイス」が表示されない場合は、「第 5 章 トラブルシューティング」をご参照ください。



「イメージングデバイス」を開いたときに、「Microsoft DV Camera and VCR」が表示されていれば、接続は正しく行われています。OK ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」を閉じてください。

確認が終了したら、AV機器は使用可能な状態になっています。キャプチャソフトウェアからデジタルビデオのキャプチャなどを行ってください。

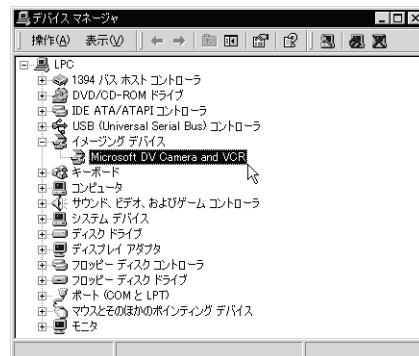
## Windows XP , 2000 の場合

Windows XP , 2000 を起動して、「コントロールパネル」「システム」を起動してください。( Windows XP の場合、これはクラシック表示での起動方法です。)

「システムのプロパティ」のウィンドウが開いたら、「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

接続されている機器の一覧が表示されますので、「イメージングデバイス」をダブルクリックして開いてください。

「イメージングデバイス」が表示されない場合は、「第5章 トラブルシューティング」をご参照ください。



### 4.3 接続結果の確認

---

「イメージングデバイス」を開いたときに、以下のデバイスが表示されていれば、接続は正しく行われています。右上のクローズボックス(×)をクリックして、「デバイスマネージャ」を閉じてください。

Windows 2000 の場合： Microsoft DV Camera and VCR

Windows XP の場合： 接続した AV 機器に対応するデバイス  
(例えば「Sony DV カムコーダ」)

#### Point

#### ポイント

---

Windows XP の場合、デバイスの名前は接続した AV 機器によって異なります。

---

確認が終了したら、AV 機器は使用可能な状態になっています。キャプチャソフトウェアからデジタルビデオのキャプチャなどを行ってください。

### 4.4 機器を取り外す場合

---

IEEE1394 はホットプラグオフ(パソコン本体の電源が ON の状態での取り外し)をサポートしています。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には、以下のような点に注意してください。

- ・ IEEE1394 機器のアクセス中に取り外しを行ってはいけません。たとえ AV 機器がアクセス中でなくても、併用している IEEE1394 機器のアクセス中に AV 機器の取り外しを行うと、トラブルの原因となる場合があります。
- ・ キャプチャソフトウェアの起動中は AV 機器を取り外さないでください。取り外しを行う前に、キャプチャソフトウェアを終了してください。



## 第5章

## 補足事項

### 5.1 トラブルシューティング

---

デバイスマネージャで「IEEE1394バスコントローラ」または「IEEE1394バスホストコントローラ」が表示されない。

デバイスマネージャは「種類別に表示」する設定(初期設定)になっていますか? 「接続別に表示」する設定だと、他の項目の下になるため、最初にウィンドウを開いたときに見えません。

一度システムを終了して、再起動してみてください。

本製品が拡張スロットにしっかりと挿入されているかどうかを確認してください。斜めに浮いていたり、ゴミなどによって接触不良が起きていませんか?

本製品を接続している拡張スロットを変更してみてください。

デバイスマネージャで「VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」または「PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」に「!」マークが付いている。

本製品の使用するシステムリソース(IRQやI/Oアドレスなど)が、プラグ&プレイに対応していないISAの拡張ボードと重複している可能性があります。このような拡張ボードを使用する場合には、BIOSセットアップからISAの拡張ボードが使用するシステムリソースを指定する必要があります。パソコン本体(もしくはマザーボード)のマニュアルを参照して、必要な設定を行ってください。

本製品を接続している拡張スロットを変更してみてください。

ストレージ機器を接続したが認識されない。

ストレージ機器の電源は ON になっていますか？

IEEE1394ケーブルはきちんと接続されていますか？ 接触不良はありませんか？

本製品の電源コネクタに内部電源コネクタは接続されていますか？きちんと接続されているかどうか確認してください。接続したのはHDユニットではありませんか？ HDユニットはフォーマットが終了しないと、「マイコンピュータ」にアイコンが登録されません。

デバイスマネージャの「IEEE1394バス(ホスト)コントローラ」の「VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」もしくは「PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」に、「！」マークが付いていませんか？ このマークがついている場合は、先にそちらのトラブルシューティング項目を参照してください。

ストレージ機器には特有の設定が必要なものもあります。ストレージ機器のトラブルシューティングも参照してください。

多くのIEEE1394機器を接続している場合、認識されない機器だけを本製品に接続して試してみてください。これで問題がなければ以下のような原因が考えられます。

- ・必要とされるバスパワーの量が本製品の供給可能な量を超えている可能性があります。2台以上のバスパワー駆動のIEEE1394機器を接続する場合は別売りのDC電源ケーブルを接続してください。それでも認識されない場合はバスパワーで動作する機器の数を減らしてみてください。
- ・ケーブル長の制限に問題がある可能性があります。「5.2 IEEE1394機器の増設について」を参照して、ケーブル長をチェックしてください。
- ・接続にループが発生している可能性があります。「5.2 IEEE1394機器の増設について」を参照して、接続形態チェックしてください。

AV機器を接続したが、デバイスマネージャで「イメージングデバイス」が表示されない。

AV機器の電源はONになっていますか？

IEEE1394ケーブルはきちんと接続されていますか？ 接触不良はありませんか？

デバイスマネージャの「IEEE1394バス(ホスト)コントローラ」の「VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」もしくは「PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」に、「！」マークが付いていませんか？ このマークがついている場合は、先にそちらのトラブルシューティング項目を参照してください。

ビデオキャプチャが途中で終了してしまう。

AV機器をバッテリーで使用していませんか？

ハードディスクの容量は不足していませんか？ 空き容量がなくなるとビデオキャプチャは中断されてしまいます。

省電力モードから復帰できない。

本製品は省電力モードをサポートしていません。省電力機能はOFFにしてご使用ください。

Windows Me, 98 Second Edition で省電力機能をOFFにするには、「コントロールパネル」 「電源の管理」を起動します。以下のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」を「なし」にして、OKボタンをクリックしてください。



## 5.1 トラブルシューティング

Windows XP, 2000 で省電力機能を OFF にするには、「コントロールパネル」 「電源オプション」を起動します。(Windows XP の場合、これはクラシック表示での起動方法です。)

以下のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」、「システム休止状態」を「なし」にして、OK ボタンをクリックしてください。(「システム休止状態」は下のように表示されない場合もあります。)



### その他：弊社ホームページについて

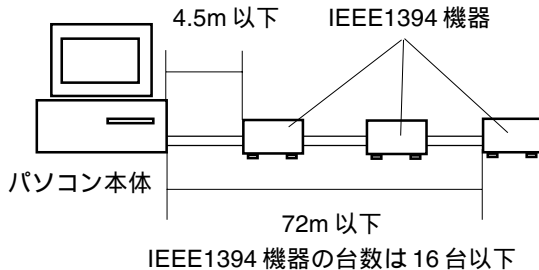
弊社ではインターネット上にホームページを開設していません。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

## 5.2 IEEE1394 機器の増設について

IEEE1394 コネクタを 2 個装備している IEEE1394 機器は数珠つなぎ（ダイジーチェーン型）に増設することができます。

### ダイジーチェーン型の接続例



このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、IEEE1394 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。

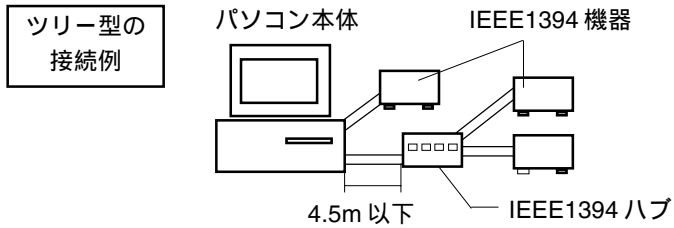


### ご注意

ダイジーチェーン型に増設を行う場合、ホットプラグする機器は終端に接続してください。中間の機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与えます。

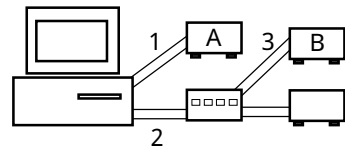
本製品のように IEEE1394 コネクタを複数装備したインターフェイスボードや、IEEE 1394 ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。（次ページ上図参照）この場合も 1 本のケーブルは最大 4.5m 以下です。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）ですが、Windows 環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A: ~ Z: でシステムが使用していないもの）に制限されます。

## 5.2 IEEE1394 機器の増設について



また、ツリー型の場合、IEEE1394機器間で経路できるケーブルの本数に最大16本という制限があります。

例えば右図の「機器A」と「機器B」の間には3本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも16本を越えるケーブルがあつてはならないという制限です。

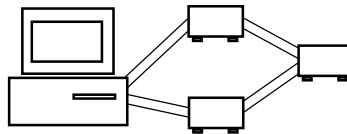


経路するケーブルは16本まで！

ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があつてはいけません。



これはダメ

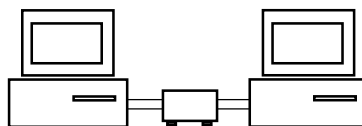


どこか一本ケーブルを外せば  
ループが解消されてOK！

また、接続の中にパソコン本体が2台以上あつてはいけません。



これはダメ



どっちで使うのかははっきり決めてよ！

# ハードウェア仕様

機種名		LHA- 1394V	
インターフェース		IEEE1394- 1995 P1394a	
最大データ転送速度 *1		400Mbps	
コネクタ *2		外部	IEEE1394コネクタ ( 6 ピン ) × 3
		内部	IEEE1394コネクタ ( 6 ピン ) × 1
環境条件 *3	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧		DC + 5V ± 5% DC + 12V ± 5% *4	
IEEE 機器への電源供給		6 W *5	
外形寸法 幅 × 高さ		120 × 64 mm *6	
質量		70 g *7	

\*1 理論値。

\*2 内部コネクタ、外部コネクタあわせて同時に3ポートまで使用可能。

\*3 ただし結露なきこと。

\*4 PCIバス、電源コネクタより入力。

\*5 電源コネクタ接続時は最大18Wまで供給可能。

\*6 突起部を含まない。

\*7 ボードのみ。

# *Memo*



LHA-1394V V01B



 **ロジテック株式会社**  
<http://www.logitech.co.jp/>